

# 委員派遣実績報告書

令和元年8月21日

米子市議会議長様

原子力発電・エネルギー問題等  
調査特別委員会  
委員長 稲田 清



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

## 記

委員会名	原子力発電・エネルギー問題等調査特別委員会
期 日	令和元年7月30日から令和元年7月30日まで
視 察 先 及び視察 内 容	【視 察 先】倉吉市 【視察内容】原子力災害時における広域避難施設等の視察 鳥取県原子力防災担当部局との意見交換
参加者名	・委員長 稲田 清 ・副委員長 土光 均 ・委 員 石橋佳枝、奥岩浩基、国頭 靖、戸田隆次、 中田利幸、矢田貝香織 ・随 行 議会事務局 主任 安東智志
経 費	なし
委 員 会 所 感	別紙のとおり

### 【1. 倉吉市立成徳小学校・上灘公民館における視察について】

成徳小学校・上灘公民館（両施設とも安倍自治会の一部住民の避難先施設）に実際に出向き、暑さ対策の必要性を強く感じた。鳥取県の担当者からの説明では、移動式のクーラー、ダンボールによる簡易ベッド等の資機材は、一括保管されており、必要に応じて各施設に配布される説明があった。また、倉吉市の担当者からは、避難時には2016年に発生した鳥取県中部地震の経験をもとに、主に現場で対応する職員の体制の維持について詳細な説明があった。また、現時点では、自家用車で避難者を全体の9割と見込んでいることから、駐車場と見込める敷地の確保についても意見を交わした。なお、各施設の仕様によって避難時の対応は様々になるが、重要なのは、受け入れ施設側の職員に避難時の対応の意識の向上策を鳥取県、倉吉市をはじめ避難先の自治体を講じる必要性を確認した。

### 【2. 鳥取県中部総合事務所における意見交換について】

鳥取県の担当者より、原子力防災への取り組みとして、避難計画の現状と、そこに至るまでの変遷が説明された。特に、前述の通り、自家用車で避難割合が9割に変更されたことから、避難経路の見直しを行ったことを詳しく説明された。

また、(1) 啓発・広報について、(2) 避難について、(3) 避難退域時検査について、(4) 安定ヨウ素剤について、(5) 避難先の状況、避難後の対応について、(6) 社会福祉施設入所者等の避難について、(7) 原子力安全顧問(会議) についての各項目について意見交換を行った。(一部、文書による回答となったものもあった。)最後に、鳥取県の担当者と、避難計画の実行性を高めるための施策を推進していくことについて確認し終了した。

以上

行政視察行程 (原子力発電・エネルギー等調査特別委員会)

月 日	行 程	備考
7/30 (火)	<p>9:30 米子市役所</p> <p>バス</p> <p>10:30 倉吉市立成徳小学校・上灘公民館</p> <p>○鳥取県から広域避難に係る概要説明</p> <p>○倉吉市から施設及び避難所の運営等について説明</p> <p>12:00 倉吉未来中心</p> <p>バス</p>	<p>【対応】</p> <p>鳥取県原子力安全対策課</p> <p>☎ : 0857-26-7973</p> <p>倉吉市防災安全課</p> <p>☎ : 0858-22-8162</p>
	<p>13:00 倉吉未来中心</p> <p>バス</p> <p>13:10 鳥取県中部総合事務所</p> <p>○質問事項を中心に県の職員と原子力防災に係る意見交換</p> <p>14:40 米子市役所</p> <p>バス</p> <p>15:40</p>	<p>【対応】</p> <p>鳥取県原子力安全対策課</p> <p>鳥取県医療・保険課</p>